

<淡窓いろは歌>

「淡窓いろは歌」とは、淡窓先生が塾生を戒め、教諭するため作った約五十首にわたる短歌で、代表的な歌に

「鋭きも鈍きもともに捨てがたし 錐と槌とに使い分けなば」

があり、市内咸宜小学校には、この歌の歌碑が建てられています。多くの市内小・中学校では、これらの歌を学習し、淡窓先生の教えを学校生活に生かしています。

写真は、三隈中学校の学習の様子と生徒の作品です。



先生のいろは歌を毛筆で書写し、歌の内容を4コマ漫画で表現しています



歌の内容を身近な出来事にあてはめてとらえ、自分たちの生活を見直しています。

<休道の机>

市内三隈中学校では、児童・生徒のつまづきを解消するために、昼休みや放課後を中心に、個別の学習指導をおこなっています。

「休道の机」(苦勞が多いと嘆かず、共に勉強に励む机)と名付けた机を廊下に並べ、生徒たちからの質問に、いつでも先生たちが答えられるようにしています。例年、定期テストや高校入試が近づくと、「休道の机」の周りは多くの生徒たちで賑わっています。



昼休みにわからないところを数学の先生に教わっています

